

黒島地区まちづくり協議会 平成 22 年度 先進地視察 報告書

視察概要

協議会名	黒島地区まちづくり協議会
視察目的	黒島地区の重要伝統的建造物群保存地区選定を受け、今後、景観まちづくりや角海家住宅をはじめとする伝統的建造物の活用を進める上で、伝建地区によるまちづくりに長く取り組んでいる滋賀県近江八幡市、東近江市の伝建地区を視察し、今後の黒島のまちづくりの参考とする。
期間	平成 22 年 9 月 29 日 (水)
視察場所	滋賀県近江八幡市 (近江八幡地区) 滋賀県東近江市 (五個荘金堂地区)
参加人数	25 名 (地元 20 名、輪島市職員 1 名、コンサルト 1 名、金沢工大・谷研究室 3 名)

視察行程と研修内容

行程	視察目的	研修内容
9 月 29 日(水)	10 : 30 ~ 12 : 00 近江八幡地区	近江八幡市文化財課の職員の方から、近江八幡地区のまちづくりの経緯について、説明を受ける。 その後、地区内の公開物件である、旧伴家住宅の視察を行う。 伴家の視察後、市の職員の方の説明を受けながら、伝建地区内の視察を行う。
	13 : 00 ~ 15 : 00 五個荘金堂地区	金堂まちなみ保存交流館にて、東近江市文化財課の職員の方、NPO 法人金堂まちなみ保存会の方から、五個荘金堂地区のまちづくりの経緯、近年のまちづくり活動に関する説明を受ける。 その後、まちなみ保存交流館内部の視察を行う。 市の職員、保存会会長の説明を受けながら、伝建地区内の視察、公開物件 3 棟 (中江準五郎邸、外村宇兵衛邸、外村繁邸) の視察を行う。

視察先のまちづくりの現状等

地区	まちづくりの現状等
近江八幡地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の修理事業については、当初 80% の補助率で助成をしていたが 2 年前から滋賀県の補助がなくなり、現在は 72% の補助率となっている。 ・ また、近江八幡市独自の補助制度として設計費に対する補助を 45% の補助率で実施している。 ・ 近江八幡地区のまちづくりのポイントは観光化に特化するのではなく、あくまで住環境の整備・拡充という部分に重点を置いていた。 ・ しかし、近年は観光客も増加し、入り込み状況は年間 60 万人に達している。 ・ 観光客の増加は平成 13 年以降に顕著になり、伝建地区内の店舗 (土産物屋や喫茶店など) 数も増加した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年以前には喫茶店は1、2軒程度しかなく、観光客から「せっかく来たのにお茶を飲む店もないのか! 」とよく叱られていた。 ・転機となったのは平成12年に伝建協の全国大会の会場になったことがある。この年から行政担当者だけでなく、地元保存会の住民を招いた住民プログラムが始まり、全国各地から近江八幡地区に多くの人が訪れ、意見交換する中で、行政・地元の双方に「もてなしの心」の大切さが認識された。 ・また平成13年には洋菓子で有名な「たねや」が伝建地区の隣接地に店舗をオープンしたことも重なり、観光客の呼び込みに繋がったと思う。 ・また、地区内の土産物屋や喫茶店は全て地元の人が経営しており、外部資本は一切入っていない。このことは地元の経済活動の活性化のためにも重要なことであり、良い点である。(前述の「たねや」も近江八幡が発祥の地) ・今後も住民生活を最優先し、観光客に媚びることなく、まちづくりを行いたいと思っている。
五個荘金堂地区	<ul style="list-style-type: none"> ・五個荘金堂地区は重伝建地区に選定されて、今年で10周年を迎える。 ・NPO法人金堂まちなみ保存会は、伝建調査の頃からの保存会を母体とし、平成19年にNPO法人化した。現在個人会員140名、法人会員15社である。 ・東近江市から指定管理者として選定されており、金堂まちなみ保存交流館の管理・運営を行っている。 ・金堂まちなみ保存交流館は、もとは近江商人の邸宅であったもので、約30年間空き家となっていたが、平成17年に東近江市が取得し、改修工事を実施、平成20年に交流館としてオープンした。 ・施設の運営理念は、「もてなし」「学び」「生きがい」であり、観光客向けには飲食や物販の提供、地元にとっては生涯学習の場として、活用している。 ・また平成22年4月より、まちなみ保存会が地元住民向けに修理・修景の相談業務を行っている。 ・これまで市が主導で行っていた修理・修景のための相談を地元の保存会を中心に実施してもらうことが目的で、保存会の主要な業務のひとつとなっている。 ・月に2~3回程度、市と保存会で相談業務の打合せを行っている。 ・伝建地区としての特徴は、農村集落を起源として、近江商人の邸宅群として発展した経緯を持ち、地区内には茅葺の農家住宅も残っており、特定物件にもなっている。 ・まちづくりとしては、平成14年から防災まちづくりも実施しており、2号消火栓や防火水槽の整備も適宜、行っている。 ・平成22年からは伝建保存審議会に耐震部会を組織し、金沢工大・後藤先生を中心として、伝統的な木造住宅に有効な耐震補強に関する技術的な検討を行っている。

視察状況

地区	視察状況	
近江八幡地区	 <p data-bbox="512 674 810 707">公開物件：旧伴家住宅</p>  <p data-bbox="539 1104 783 1137">近江八幡伝建地区</p>	 <p data-bbox="959 674 1369 707">旧伴家住宅での意見交換の様子</p>  <p data-bbox="1042 1104 1310 1137">地区内の視察の様子</p>
五個荘金堂地区	 <p data-bbox="483 1532 810 1565">公開物件：中江準五郎邸</p>  <p data-bbox="424 1964 887 1998">金堂まちなみ保存交流館の物販コーナー</p>	 <p data-bbox="959 1532 1401 1565">中江準五郎邸での意見交換の様子</p>  <p data-bbox="1002 1964 1329 1998">伝建地区内の視察の様子</p>